

# 松原市公共施設等総合管理計画

## 概要版

### 今、公共施設の何が問題なのでしょうか？

松原市では、全国の自治体と同様、高度経済成長期における急激な人口増加や市民生活の向上に対応するために、小中学校、市民文化施設などの公共施設を整備してきました。

#### 約 100 施設・延床面積 28 万㎡

市が保有する公共施設は、約 100 施設あり、延床面積の合計は約 28 万㎡、市民一人あたりでは 2.36 ㎡となります。

#### 学校教育系施設が全体の 58%

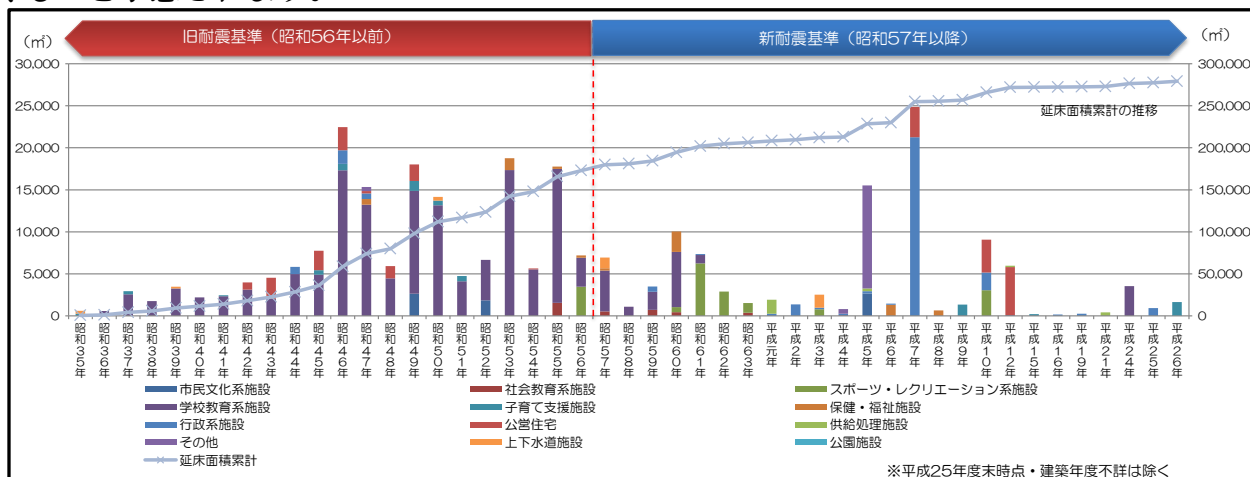
延床面積では、小・中学校等の学校教育系施設が全体の約 58% (約 16 万㎡) と、最も大きな割合を占めています。

#### 築 30 年以上は全体の 64%

市が保有する公共施設のうち、築 30 年以上を経過する施設は、全体の半数 (約 64%) を超えています。今後、施設の老朽化が進み、その修繕や維持管理費は、ますます増加していくものと予想されます。

#### 今後、多額の改修・更新費用が必要

さらに、施設の大量更新時期を迎え、大規模改修や建て替えに多額の費用が必要となり、すべての公共施設を維持していくためには、財政面で大きな負担が掛かることが想定されます。



#### 建築年度別に見た施設類型別の延床面積

### 「松原市公共施設等総合管理計画」を策定

人口減少や少子高齢化など、社会情勢が変化する中、持続可能な行政経営を行っていくためには、公共施設等の将来のあるべき姿を検討することが必要となっています。

松原市公共施設等総合管理計画は、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として策定します。

# 人口の将来見通しと公共施設等の課題

## 将来的な人口推移は少子高齢化がさらに進行

本市の人口は、昭和30年代から40年代に急増しましたが、昭和60年の137,059人をピークに減少に転じました。

今後、人口の減少傾向は変わらず少子高齢化が一層進み、年齢構成が大きく変わっていくことが予想されています。平成22年から30年後の平成52(2040)年には人口が94,521人と100,000人を下回り、老年人口の割合が37.3%と推測されています。



松原市の人口推移

## 現状の施設を維持した場合の更新費用は現状の2.5倍

今後40年間の更新費用を試算(総務省「更新費用試算ソフト」より試算)すると、公共施設とインフラ資産を含めた資産全体では、約2,193億円で、1年あたりの平均額を求めると、約54.8億円となりました。これは、過去5年間の公共施設等に係る投資的経費の年平均額(約21.8億円)の約2.5倍に当たります。



松原市の公共施設等の更新費用(推計)

# 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

## 今後の公共施設等のあり方について基本的な方針を策定

現在、本市が所有しているすべての資産を同じ規模で将来にわたり維持し続けていくことは、人口の推移や財政状況を踏まえると非常に難しいと考えられます。

こうした状況を踏まえ、将来にわたり持続可能な行政経営と市民サービスの維持・向上を図っていくため、公共施設等の今後のあり方についての基本方針を策定しました。

### (1) 予防保全による長寿命化と総量の抑制による更新費用の縮減

老朽化した資産の予防保全による長寿命化や、施設の統廃合や機能の複合化による総量の抑制を図ることにより、資産の更新費用を縮減します。

### (2) 年齢構成やニーズの変化に対応した機能の提供

少子高齢化の進展に伴う年齢構成や住民ニーズの変化などに対応して、今後必要とされる施設の機能を充実させることで、総合的に行政サービスの維持・向上を図ります。

### (3) 効率的・効果的な行政サービスの実現

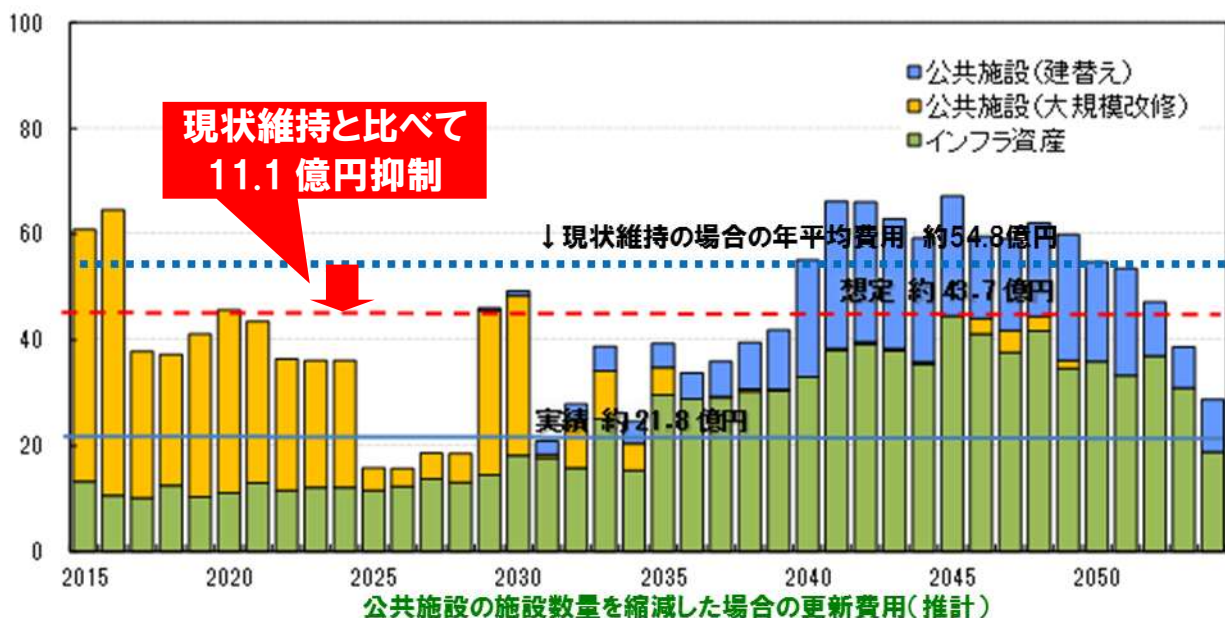
民間のノウハウを活用した施設運営を引き続き行うことにより、コストを抑制し継続的に施設の機能やサービスの提供ができるよう、更に効率的・効果的な行政サービスの実現を目指します。

## 基本方針を踏まえて公共施設等の数量に対する数値目標を設定

公共施設等のあり方についての基本方針を踏まえて、公共施設の縮減を検討した場合の更新費用を試算した上で、今後の公共施設等の数量に対する数値目標を設定しました。

30年後に人口が24%減少する点、長寿命化の点（修繕時期の延長）及び年少人口が半減する点を踏まえて、施設数量（延床面積）縮減の数値目標を設定し更新費用を試算すると、今後40年間の年平均費用は43.7億円で現状の約2.0倍となり、現状維持の場合と比べて11.1億円の抑制が可能となります。

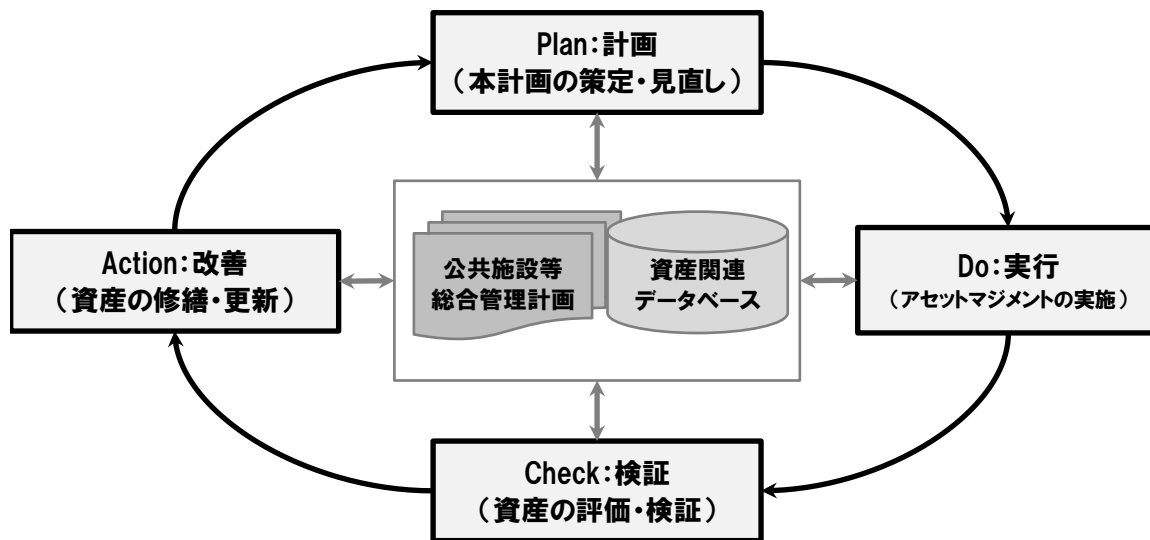
(億円)



## 本計画を推進し実現していくための実施方針を設定

本計画を推進し、実現していくための実施方針を設定しました。

本計画の策定を行い（Plan：計画）、本計画に基づいてアセットマネジメント\*を実施し（Do：実行）、定期的に資産を評価・検証し（Check：検証）、評価結果に基づいて修繕・更新し（Action：改善）、必要に応じて本計画を見直す（Plan：計画）というサイクルを回していくことを実施方針とします。



※アセットマネジメントとは、公共施設等を一元的に把握して、将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取り組みです。

## 公共施設等総合管理計画をもとに個別施設計画や長寿命化計画を検討

この公共施設等総合管理計画を基に今後、資産の種類ごとに個別施設計画や長寿命化計画を策定・見直しを行う予定です。

将来の松原市のまちづくりのため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。



松原市公共施設等総合管理計画-概要版-

平成 27 年 5 月

松原市 市長公室 企画政策課  
〒580-8501 松原市阿保 1 丁目 1 番 1 号  
電話 072-334-1550(代表)